

1 【活動の趣旨】

本学区には立命館大学びわこ・くさつキャンパス（BKC）があり、パナソニック草津工場を始め、多くの企業が点在する地域である。地域の特性を生かした活動は、地域の方にとっても、子どもたちにとっても、有意義な取組となるように仕組んでいる。

2 【特徴的な活動内容】

「台湾・崇文小学校との文化交流」

台湾・崇文小学校との交流は、昨年度に続き2回目となる。今年は、5・6年生児童19名と関係者・保護者が6名来校された。文化交流としては、5年生の地域協働合校事業として取り組んでいる「邦楽体験」と6年生の「外国語活動」を崇文小の児童らと共に体験した。

まず、「邦楽体験」では邦楽サークル「風雅」のみなさんに「春の海」を披露していただいた。琴や尺八の指づかいに感心しながらその調べに耳を傾けていた。体験学習では、「さくら」の曲を教わり、崇文小の児童らとペアになって上下のパートを練習した。言葉が十分には通じないものの、身振り手振りで思いを伝えながら楽しそうに練習をする姿が印象的であった。後半は、6年生と外国語活動として英語の学習をした。方角の言い方を確認した後、マス目に描かれた地図を見ながら四方に移動を指示して国を当てるゲームを行った。「北に4つ、東に6つ→この国は？」といった具合で、お互いが問題を出し合って楽しんだ。子ども達は、給食を一緒に食べたり、昼休みにはサッカー・鬼ごっこ、フリスビーをしたりして楽しい雰囲気の中で交流することができた。



【邦楽体験】



【外国語活動】

3 【実施に当たっての工夫】

玉川小学校の地域協働合校の伝統として行われている活動を大事にしている。行事が終わった後に地域のみなさんと反省会をもち、来ていただいた方とその日のうちに話し合っただけで次年度に生かすようにしてきた。地域コーディネーターが代わったり、実施団体の担当が代わったりしても、次年度スムーズな取組ができるよう引き継ぎを大事にし、毎年行事を見直してより良い取り組みになるようにしている。

4 【事業の成果】

児童と地域のみなさんが様々な事業を通して顔見知りになった。登校時は地域のみなさんやPTAの方々が校門で児童をむかえてくださる時には、元気よく挨拶を交わす児童の姿が増えた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

学校運営協議会については、年に4回話し合いの場を持っている。学校の取組の現状報告やそれに対するアドバイス、課題解決に向けて貴重なご意見をいただいている。今年度は、2学期当初の暑さ対策を相談したところ、自治会の方から体育館にスポットクーラーを4台借りていただいた。運動会の練習では集中して取り組み、本番ではその成果がみられた。